

押す × 流す × 温める = 元気なまちへ！

本対象地におけるマッサージプログラムとは、高度な専門技術を使う外科的処方は異なり、誰でも簡単にできるマッサージ療法を用いることで対象地における病状（まちの課題）を取っている治癒力（まちの可能性）を以下の3つの観点で刺激していきながら回復させていく。このプログラムは、ある1点を回復させるのではなく複合的に刺激し相互作用を促すとともに、一時的なものでなく継続的にきに行うことでより高い効果を得ることができる。



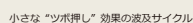
ツボとしての点的な資源とリンパとしての線的な資源を補う形でまち全体における面的な政策を複数行うことでまち全体を面的に温める効果を期待する。

現在機能している複数の組織を統合することで、まちづくりに関する組織をより可視化する。またとくにこの提案の中心と成りうる組織「大井まちづくり協議会」

マッサージの記録・確認 ノートの共有

日々の活動を皆に共有できる特設ホームページを作成して、成果を自慢しましょう！！

大井町に“マッサージ”をしたら以下のようにインターネットを用いて活動報告をします！

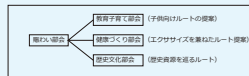


水路

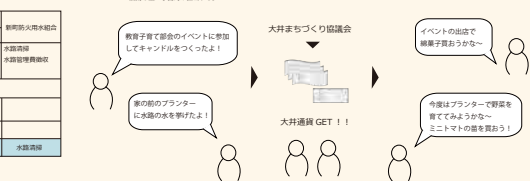
街を縫うように流れる水路を、リンパ管に例え、水路を臨時的に整備または利用し、街の繋がりを意識していく効果をもたらす。また同時に、街中に水路のある空間を演出することができ、目にした人々に癒しを提供する。

まち歩きルート

まちづくり協議会の利便性などによって促進される様々な取り組みを推進し、実行している。その取組に合わせ、議会が中心となって、教育子育てや健康づくり部会、文化文化部会が互いに連携をとりながらパウエティーに富んだ歩歩ルートの実現を実現する。まちづくり協議会がルート促進に用いることで、まち歩きルートとしての促進である「旅す」と部会どうしの連携がある「温める」という効果が相互作用すると共に特徴がある。



協議会」組織における活動に留まらず、住民が主体となるような活動として地域貨幣を導入する。押すツブや流すリンパにおける個人の成果により地域貨幣を入手でき、それらの地域貨幣はまた押すツブや流すリンパにおいて使用することができる。これらのサイクルによりまち全体を温める。この活動は主に事務局が担当する。



水防消隊や水防学習など住民と組織が一体となって行える活動を年間行事として行う。まちの伝統行事と合わせて行うことで住民の意識化を図り、年間行事として行うことで継続性を保つことで持続的な面としての狙いを行う。この活動は主に環境部会と新町防火水防組合が担当する。

[illegible] 今後の予定

- ・ **水路整備と交通規制による新しいルート提案**
- ここでは、近畿地方と同様、西海部地方の主要な水運を巡る散歩ルートの提案を行い、人の流れを生み出していく。地域にもみられるように、水路利用が多くなりながらも交通量が増えつつ歩を活性化させていたため、交通規制や交通量に影響のない範囲内で、新規の水路利用者、また更なる水路利用やすさを追求していく。
- ・ **SNSによる広報活動**
- 一人の力は小さく、みんなが少しずつ取り組めばいいことでまちが変わること、住民の小々な活動が地域に貢献していることを感じて貰えるように SNS を通じて、住民一人一人の力を押し上げるアルファムで拾い上げ、発信していくことでより住民の活動が見えられ、また、他の住民の理解や交流を深め、さらなる水路利用の参画への意欲をかき立てていくことを目指す。
- ・ **歩けるまちの実現**
- 水路の日常利用イベント等、水路を通じ住民同士の交流を促しているが、まだまだ多く存在する暗渠化されてしまっている水路の蓋をすべてとことごとさらなるまちの通し利用を促していくことも近隣の関わりや融合合いが増え交流人口の増加が期待出来る。しかし、水路の蓋を壊していく車利用が激しくなることから交通規制や駐車場誘致、さらにもある程度行き先を自由に決定出来る交通手段システムなどを考えている。